



*Scientific and Technical
Information Network*

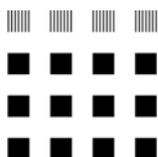
STN ライフサイエンス系ファイルの強化

2005 年 5 月 ~ 2006 年 5 月分

OUG ライフサイエンス分科会

日時: 2006 年 6 月 14 日 (木) 14:00 ~ 17:00

場所: (社)化学情報協会 4 階会議室



JAICI 社団法人 化学情報協会

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-25-4 中居ビル

ヘルプデスク TEL: 0120-003-462 E-mail: helpdesk@jaici.or.jp

サービス全般 TEL: 0120-151-462 E-mail: cas-stn@jaici.or.jp

FAX: 03-5978-3600

<http://www.jaici.or.jp/>

ライフサイエンス系ファイルの強化	1
MEDLINE の強化	3
EMBASE/EMBAL の強化	16
CAS FILES の強化	19
REGISTRY の強化	20
CAplus/CA の強化	28
インターフェースの強化	31

ライフサイエンス系ファイルの強化（2005年 5月以降）

ファイル名	強化点
BIOSIS	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特許発行日の形式を変更した。 <ul style="list-style-type: none"> - YYYYMMDD (Y:年, M:月, D:日) ・ SO (収録源) フィールドに電子版の国際逐次刊行物番号 (E-ISSN) を追加した。 <ul style="list-style-type: none"> - E-ISSN は /ISN および /SO で検索・表示可能
EMBAL	<ul style="list-style-type: none"> ・ SO (収録源) フィールドに電子版の国際逐次刊行物番号 (E-ISSN) および記事番号 (ARN) を追加した。 <ul style="list-style-type: none"> - E-ISSN は /ISN および /SO で検索・表示可能
EMBASE	<ul style="list-style-type: none"> ・ SO (収録源) フィールドに電子版の国際逐次刊行物番号 (E-ISSN) および記事番号 (ARN) を追加した。 <ul style="list-style-type: none"> - E-ISSN は /ISN および /SO で検索・表示可能 ・ 統制語とリンク語を組み合わせる際の演算子を (L) から (P) に変更した ・ 更新頻度が毎日に変更した。 <ul style="list-style-type: none"> - アラートの実行頻度は変更なし
MEDLINE	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2006 年版 MeSH に対応した。 ・ SO (収録源) フィールドに国際逐次刊行物番号 (ISSN) および電子版の国際逐次刊行物番号 (E-ISSN) を収録した。 ・ OLDMEDLINE のレコードに MeSH を収録した ・ ストップワードを廃止した。 ・ /BI, /AB, /TI フィールドで後方一致・中間一致検索を可能にした。 ・ 発行日 (/PD) フィールドを数値検索可能にした。 ・ コメント (/CM) フィールドを追加した。
NAPRALERT	<ul style="list-style-type: none"> ・ 更新中止
PROUSDDR	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特許番号 (/PN) フィールドを変更した。 <ul style="list-style-type: none"> - STN の他のファイルと同じ形式に変更 (例: US2616927 (旧形式) → US20062616927 (新形式)) ・ 分子式 (/MF) フィールドを変更した。 <ul style="list-style-type: none"> - 多成分物質も単成分物質のような登録形式に変更 (例: C5H15N2O3PS.H2O → C5H17N2O4PS)

ライフサイエンス系ファイルの強化（2005年 5月以降）

ファイル名	強化点
SciSearch	<ul style="list-style-type: none"> ・ /AB フィールドで (S) 演算子が利用可能になった. ・ /BI, /AB, /ST, /STP フィールドで後方一致・中間一致検索が可能になった. ・ ストップワードを廃止した. ・ SO (収録源) フィールドで国際逐次刊行物番号 (ISSN) の検索が可能になった. ・ 2000 年以前のレコードについてレコード番号 (/AN)を変更した. ・ 2000 年以前のレコードの入力日 (/ED) および更新日 (/UP) が YYYYMMDD の形式に変更された. ・ 検索フィールド・表示形式を追加した. <ul style="list-style-type: none"> - 発行者情報 (/PB), SciSearch 資料番号 (/DN), E-mail (/EML) ・ 表示形式を追加した. <ul style="list-style-type: none"> - JTF (雑誌名の完全名), JTA (雑誌名の略名) ・ 以下のフィールドは数値検索フィールドではなくなった. <ul style="list-style-type: none"> - 引用文献雑誌名 (/RWK), 引用文献巻 (/RVL), 引用文献開始ページ (RPG)
TOXCENTER	<ul style="list-style-type: none"> ・ BIOSIS セグメントの SO (収録源) フィールドに電子版の国際逐次刊行物番号 (E-ISSN) を追加した. ・ MEDLINE セグメントをリロードした. ・ 検索機能を強化した. <ul style="list-style-type: none"> - SO (収録源) フィールド中のサブフィールドの内容全てが検索可能 - ストップワードの廃止 - /BI, /AB, /TI フィールドで後方一致・中間一致検索が可能

■ 恒久保存可能な回答上限数の増加

- ・ SAVE コマンドで恒久的に保存可能な総回答数の上限が 40 万件（従来は 20 万件）になった.
- SAVE TEMP 50 万件, SAVE 40 万件で合計 90 万件までホストコンピュータに回答セット等を保存できるようになった.

MEDLINE の強化

■ MEDLINE (MEDlars onLINE) ファイルは、医学分野の代表的な文献データベースである。

・ ファイル概要

(2006 年 5 月現在)

作成機関	米国国立医学図書館 (NLM : National Library of Medicine)
収録源	世界 70 カ国以上で出版されている約 4,600 雑誌から収録。 法規, 特許, 新聞記事, 統計データ, 学会資料は収録していない。
収録内容	生物医学分野全般を広く収録。 - 臨床医学 - 毒物学 - 薬理・製薬学 - 解剖・生理学 - 病理学 - 歯科学 - 実験医学 - 微生物・寄生虫学 など
収録件数	レコード数 1,522 万件以上
収録期間	1950 年から現在まで
更新頻度	週 4 回 (リロードは毎年行われる)
アラート	毎週, または毎月
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「収録範囲の広さ」, 「検索の容易性」, 「経済的」などの点から, 医学分野の外国文献を検索する場合に最初に利用されることが多い。 ・ 1966 年以降のレコードでは, 文献中の主題が MeSH (Medical Subject Headings) という医学用語シソーラスの統制語で索引されており, 再現率と適合率の高い検索を行うことができる。 ・ 練習用 (LEARNING) ファイルとして廉価な LMEDLINE ファイルがある。 (LMEDLINE ファイルは, 本ファイルと共に毎年リロードされている) ・ CAS 登録番号がほぼ全期間 (IN-PROCESS を除く) に付与されている。
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続時間料金 (1 時間あたり) : 4,300 円 ・ オンラインディスプレイ料金 (回答 1 件あたり) : <ul style="list-style-type: none"> - BIB (デフォルト) 表示形式 : 22 円 - ABS 表示形式 : 7 円 - ALL 表示形式 : 29 円 - TRIAL, SAM 表示形式 : 無料

■ 2006 年 2 月に MEDLINE ファイルの Annual Reload を完了した。現在, 全収録期間のレコードが 2006 年版の MeSH (MEDLINE ファイルの統制語) に対応している。

・ これに伴い, 練習用ファイルの LMEDLINE ファイル と TOXCENTER ファイルの MEDLINE セグメントもリロードされた。

- 新規ディスクリプタ数 : 933
- 新しい用語に置き換えられたディスクリプタ数 : 138
- 削除されたディスクリプタ数 : 50

・ MeSH の変更に関する詳細は下記 URL 参照。

http://www.nlm.nih.gov/pubs/techbull/nd05/nd05_med_data_changes.html
http://www.nlm.nih.gov/pubs/techbull/nd05/nd05_2006_MeSH.html

MEDLINE の強化

■ 大きく変更されたカテゴリー

- ・ 生物種 (カテゴリー B)
 - 軟体動物門 (Phylum Mollusca) に関するディスクリプタを追加.
 - 霊長類 (Primates) に関するディスクリプタの並び順を変更.
 - 鯨, イルカ, ネズミイルカに関する種および属をディスクリプタに昇格.
 - B8 (粘菌, Mesomycetozoea) を新設.
動物-菌類の分岐に位置する, 寄生および腐生 (腐敗有機物を栄養源とする) 微生物のクラス
 - ・ 生物学的融合 : 遺伝子融合 (gene fusion) および 膜融合 (membrane fusion) に関するディスクリプタを新設.
 - 人工遺伝子融合 (Artificial Gene Fusion)
 - 腫瘍遺伝子融合 (Oncogene Fusion)
 - 変異キメラタンパク (Mutant Chimeric Proteins)
 - 膜融合タンパク (Membrane Fusion Proteins)
 - ・ 胎盤哺乳類動物の生殖 : 非胎盤哺乳類動物の生殖に関する項目を新設.
 - 一腹卵数 (Clutch Size)
 - 卵生 (Oviparity)
 - 卵胎生 (Ovoviviparity)
 - 胎生, 非哺乳類 (Viviparity, Nonmammalian) 等を含む.
- * “妊娠” (Pregnancy) は, 胎盤動物にのみ使用される.
一腹卵数 (Clutch Size) は, 卵生動物あるいは卵胎生動物にのみ使用する.
産子数 (Litter Size) は, 胎生動物に使用する.

MEDLINE の強化

■ 医薬品および化学：サブカテゴリー D の変更.

コード	内容	2005	2006
D01	無機化合物 (Inorganic Chemicals)	○	○
D02	有機化合物 (Organic Chemicals)	○	○
D03	ヘテロ環化合物 (Heterocyclic Compounds)	○	○
D04	複素環化合物 (Polycyclic Compounds)	○	○
D05	高分子化合物 (Macromolecular Substances)	○	○
D06	ホルモン, ホルモン代替化合物, ホルモン拮抗薬 (Hormones, Hormone Substitutes, and Hormone Antagonists)	○	○
D07	生殖抑制剤 (Reproductive Control Agents)	○	×
D08	酵素および補酵素 (Enzymes and Coenzymes)	○	○
D09	炭水化物 (Carbohydrates)	○	○
D10	脂質 (Lipids)	○	○
D11	成長物質, 色素, ビタミン (Growth Substances, Pigments, and Vitamins)	○	×
D12	アミノ酸, ペプチド, タンパク (Amino Acids, Peptides, and Proteins)	○	○
D13	核酸, ヌクレオチド, ヌクレオシド (Nucleic Acids, Nucleotides, and Nucleosides)	○	○
D14	神経伝達物質, 神経伝達剤 (Neurotransmitters and Neurotransmitter Agents)	○	×
D15	中枢神経系剤 (Central Nervous System Agents)	○	×
D16	末梢神経系剤 (Peripheral Nervous System Agents)	○	×
D17	抗炎症剤, 抗リュウマチ剤, 炎症抑制剤 (Anti-Inflammatory Agents, Antirheumatic Agents, and Inflammation Mediators)	○	×
D18	心臓血管剤 (Cardiovascular Agents)	○	×
D19	血液, 胃腸, 腎臓薬 (Hematologic, Gastrointestinal, and Renal Agents)	○	×
D20	複合混合物 (Complex Mixtures)	○	○
D20	抗アレルギーおよび呼吸系薬 (Anti-Allergic and Respiratory System Agents)	○	×
D21	抗腫瘍および免疫抑制剤 (Antineoplastic and Immunosuppressive Agents)	○	×
D23	皮膚病薬 (Dermatologic Agents)	○	○
D24	免疫および生物学的因子 (Immunologic and Biological Factors)	○	×
D25	生物医学的および歯科学的物質 (Biomedical and Dental Materials)	○	○
D26	製薬 (Pharmaceutical Preparations)	○	○
D27	化学的働きおよび用途 (Chemical Actions and Uses)	○	○

※ D27 は, 薬理作用 (Pharmacologic Actions (PA))

MEDLINE の強化

■ ビタミン (Vitamins) : D27 (Chemical Actions and Uses) に変更.

- ・ ビタミン一般の薬理作用 (Pharmacological Action, PA) を新設.
- ・ 検索例 : アスコルビン酸 (ビタミン C) のオンラインシソーラス

=> FILE MEDLINE

```

=> E ASCORBIC ACID+ALL/CT      ← アスコルビン酸のすべての関係語を表示する
E1          0          BT5  D Chemicals and Drugs/CT
E2          0          BT4  Chemical Actions and Uses/CT
E3          0          BT3  Pharmacologic Actions/CT
E4          5          BT2  Molecular Mechanisms of Action/CT
:
E49         0          BT7  D Chemicals and Drugs/CT
E50         0          BT6  Chemical Actions and Uses/CT
E51         0          BT5  Pharmacologic Actions/CT
E52         1          BT4  Physiological Effects of Drugs/CT
E53        22025       BT3  Growth Substances/CT
E54        1116       BT2  Micronutrients/CT
E55        12169       BT1  Vitamins/CT
E56        27504       -->  Ascorbic Acid/CT
E57        27619       MN   D2.241.511.902.107./CT
E58        27619       MN   D2.241.81.844.107./CT
E59        27619       MN   D9.811.100./CT
                        RN   50-81-7
                        DC   an INDEX MEDICUS major descriptor
                        NOTE  A six carbon compound related to glucose. It
                               is found naturally in citrus fruits and many
                               vegetables. Ascorbic acid is an essential
                               nutrient in humandiets, and necessary to
                               maintain connective tissue and bone. Its
                               biologically active form, vitamin C, functions
                               as a reducing agent and coenzyme in several
                               metabolic pathways. Vitamin C is considered an
                               antioxidant.
                               INDX /defic = ASCORBIC ACID DEFICIENCY or SCURVY
                               ENTC deficiency:Ascorbic Acid Deficiency
                               AQ   AA AD AE AG AI AN BI BL CF CH CL CS CT DU EC
                               GE HI IM IP ME PD PH PK PO RESD SE ST TO TU UR
                               HNTE /therapeutic use was ASCORBIC ACID,
                                     THERAPEUTIC 1965
                               MHTH BAN (19XX)
                               MHTH INN (19XX)
                               MHTH POPLINE (1978)
                               MHTH USP (19XX)
                               PA   Antioxidants
                               PA   Free Radical Scavengers
                               PA   Vitamins      ← Vitamins が PA として登録されている
E60         0          UF   Acid, Ascorbic/CT
E61         0          UF   Acid, L-Ascorbic/CT
:
E73         0          UF   Vitamin C/CT
E74        726        NT1  Dehydroascorbic Acid/CT
***** END *****

```

MEDLINE の強化

■ その他

- ・ MeSH 中の “Antibiotics” は, ”Anti-Bacterial Agents“ へ置き換えられた.
- ・ 組み合わせ語の変更 (Entry Combination Revisions) : 下記の組み合わせ語を変更

2005 MeSH	2006 MeSH
Carbohydrates/metabolism	Carbohydrate Metabolism
Dihydropteridine Reductase/deficiency	Phenylketonurias
Hypothyroidism/congenital	Congenital Hypothyroidism
Lipids/metabolism	Lipid Metabolism
Skin Diseases, Parasitic/drug therapy	Antiparasitic Agents
Tubulin/antagonists & inhibitors	Tubulin Modulators
Sodium Chloride Symporters/antagonists & inhibitors	Sodium Chloride Symporter Inhibitors
Serotonin Plasma Membrane Transporter Proteins/antagonists & inhibitors	Serotonin Uptake Inhibitors
Complement C1 Inhibitor Protein/deficiency	Angioneurotic Edema
Protoporphyrinogen Oxidase/deficiency	Porphyria, Variegate
Cyclooxygenase 1/antagonists & inhibitors	Cyclooxygenase Inhibitors
Cyclooxygenase 2/antagonists & inhibitors	Cyclooxygenase 2 Inhibitors
Xeroderma Pigmentosum Group A Protein /deficiency	Xeroderma Pigmentosum
Von Hippel-Lindau Tumor Suppressor Protein /deficiency	Hippel-Lindau Disease
Fragile X Mental Retardation Protein /deficiency	Fragile X Syndrome
Lysosomal-Associated Membrane Protein 2 /deficiency	Glycogen Storage Disease Type IIb

MEDLINE の強化

■ 検索機能等の強化

- ・ ストップワードを廃止.
- ・ 基本索引 (/BI あるいはなし), 抄録 (/AB) に加えて, 標題 (/TI) フィールドの検索でも後方一致・中間一致検索が可能になった.
- ・ 収録源 (/SO) フィールドに ISSN と E-ISSN を収録.
- ・ OLDMEDLINE 由来のレコードに MeSH を収録.
- ・ 発行日 (/PD) が数値検索フィールドになった.
発行日は /SO でも検索可能だが, /SO は数値検索できない.
- ・ 参照 PubMed ID を収録するコメント (/CM) フィールドを新設.
CM は ALL 表示形式で表示可能だが, BIB 表示形式には含まれない. CM を SELECT および ANALYZE すると, 参照 PubMed ID を抽出し, /DN を付与する. (参照先のレコードを検索・表示する際に利用)

■ ストップワードを廃止.

=> S POLLUTION OF THE AIR ← 従来のストップワードを含めて検索する
56643 POLLUTION
12816352 OF
11216140 THE
139266 AIR
L1 57 POLLUTION OF THE AIR
(POLLUTION(W) OF (W) THE (W) AIR)

=> D BIB ABS

L1 ANSWER 1 OF 57 MEDLINE on STN
AN 2005556581 MEDLINE
DN PubMed ID: 16234604
TI Morbidity rate among Georgian sodium cyanide production workers.
AU Kverenchkhiladze G
CS N. I. Makhviladze Research Institute of Labour Ecology, Tbilisi, Georgia.
SO Georgian medical news, (2005 Sep) No. 126, pp. 80-4.
Journal code: 101218222. ISSN: 1512-0112.
CY Georgia (Republic): Georgia
DT Journal; Article; (JOURNAL ARTICLE)
: 省略
AB With the purpose of evaluation of the role of production-professional factors on the health status of sodium cyanide production workers, the working conditions (**pollution of the air** by chemical substances, microclimate, noise, vibration) were examined and the data on temporary work incapacity during 2000-2004 years were analyzed. Among the production-professional factors the **pollution of the air** of working surroundings by toxic substances, as well as the high temperature of air, noise and vibration were leading causes. It is shown that the working conditions have certain influence on the morbidity rate among the workers. Morbidity rate in the main group was 1,7 times higher. In the morbidity structure, diseases of respiratory, cardio-vascular, nervous, digestive and musculoskeletal systems were leading.

MEDLINE の強化

- 基本索引 (/BI あるいはなし), 抄録 (/AB) に加えて, 標題 (/TI) フィールドの検索でも後方一致・中間一致検索が可能になった.

```
=> S (KIDNEY BEAN# OR PHASEOLUS)/TI AND ?TOXIC?/TI
      75265 KIDNEY/TI
      4087 BEAN#/TI
      182 KIDNEY BEAN#/TI
          ((KIDNEY(W)BEAN#)/TI)
      1325 PHASEOLUS/TI
      163513 ?TOXIC?/TI
L1      32 (KIDNEY BEAN# OR PHASEOLUS)/TI AND ?TOXIC?/TI
```

← 標題フィールドでも中間一致検索できる

=> D TI 1-5

```
L1 ANSWER 1 OF 32 MEDLINE on STN
TI Tannins, trypsin inhibitors and lectin cytotoxicity in tepary (
Phaseolus acutifolius) and common (Phaseolus vulgaris)
beans.

L1 ANSWER 2 OF 32 MEDLINE on STN
TI Complex toxic effects of Cd2+, Zn2+, and acid rain on growth of
kidney bean (Phaseolus vulgaris L.).

L1 ANSWER 3 OF 32 MEDLINE on STN
TI Induction of enzyme capacity in plants as a result of heavy metal
toxicity: dose-response relations in Phaseolus vulgaris
L., treated with zinc and cadmium.

L1 ANSWER 4 OF 32 MEDLINE on STN
TI Suspected white kidney bean (Phaseolus vulgaris) toxicity in horses and
cattle.

L1 ANSWER 5 OF 32 MEDLINE on STN
TI Study of aluminum toxicity by means of vital staining profiles
in four cultivars of Phaseolus vulgaris L.
```

- OLDMEDLINE 由来のレコードに MeSH を収録.

```
=> E OLD/FS
E1 2156728 NONMEDLINE/FS
E2 497170 NURSING JOURNALS/FS
E3 1760529 --> OLD/FS
E4 1760529 OLDMEDLINE/FS
E5 69041 POPULATION/FS
E6 13098195 PRIORITY JOURNALS/FS
E7 163435 PUBMED-NOT-MEDLINE/FS
E8 192428 Q/FS
E9 3645 R/FS
E10 3645 REPRODUCTION/FS
E11 177605 S/FS
E12 177605 SPACE LIFE SCIENCES/FS
```

```
=> S E3 ← OLDMEDLINE のレコードを検索する
L1 1760529 OLD/FS
```

MEDLINE の強化

=> D 1000 ALL

```

L1 ANSWER 1000 OF 1760529 MEDLINE on STN
AN 65152703 MEDLINE
DN PubMed ID: 14347786
TI [ARTIFICIAL REPLACEMENTS IN HEART AND BLOOD VESSEL SURGERY BY FREELY
   TRANSPANTED SMALL INTESTINES].
   KUNSTSTOFFERSATZ IN DER HERZ- UND GEFAESSCHIRURGIE DURCH
   FREITRANSPLANTIERTEN DUENNDARM.
AU ROTTHOFF G; HAERING R; NASSERI M; KOLB E
SO Langenbecks Archiv fur klinische Chirurgie ... vereinigt mit Deutsche
   Zeitschrift fur Chirurgie, (1964 Nov 17) Vol. 308, pp. 816-20.
   Journal code: 0171206.
CY GERMANY: Germany, Federal Republic of
DT Journal; Article; (JOURNAL ARTICLE)
LA German
FS OLDMEDLINE; NONMEDLINE
EM 199612
ED Entered STN: 16 Jul 1999
   Last Updated on STN: 16 Jul 1999
   Entered Medline: 1 Dec 1996
ST dogs; experimental lab study; heart surgery; intestine, small;
   transplantation, autologous; vascular surgery
CT *Dogs
   *Intestine, Small
   *Thoracic Surgery
   *Transplantation, Autologous
   *Vascular Surgical Procedures
  
```

* STN の MEDLINE ファイルには以下のタイプのレコードも収録されている。各タイプのレコードは /FS (ファイルセグメント) フィールドで限定することができる。

タイプ	ファイルセグメント	
最新レコード	・IN-PROCESS/FS または NONINDEXED/FS ・さらに出版社提供データは IN-DATA-REVIEW/FS	NONMEDLINE/FS
PubMed 関連レコード	PUBMED-NOT-MEDLINE/FS	
古いレコード	OLDMEDLINE/FS	

* OLDMEDLINE の収録期間 : 1950 ~ 1965 年

MEDLINE の強化

- 発行日 (/PD) が数値検索フィールドになった。
発行日は /SO でも検索可能だが、/SO は数値検索できない。

=> S 20060503/PD ← 2006年5月3日に出版された文献を検索する
L1 304 20060503/PD
(20060503/PD)

=> D

L1 ANSWER 1 OF 304 MEDLINE on STN
AN 2006306757 IN-PROCESS [Full-text](#)
DN PubMed ID: 16734197
TI [In Process Citation].
Profs et tourisme medical.
AU Kiefer Bertrand
SO Revue medicale suisse, (2006 May 3) Vol. 2, No. 64, pp. 1216.
Journal code: 101219148. ISSN: 1660-9379.
CY Switzerland
DT Journal; Article; (JOURNAL ARTICLE)
LA French
FS NONMEDLINE; IN-PROCESS; NONINDEXED; Priority Journals
ED Entered STN: 1 Jun 2006
Last Updated on STN: 1 Jun 2006

=> S 20060501-20060515/PD ← 2006年5月1~15日に出版された文献を検索する
L2 7315 20060501-20060515/PD
(20060501-20060515/PD)

=> D 1 7315

L2 ANSWER 1 OF 7315 MEDLINE on STN
AN 2006351452 IN-PROCESS [Full-text](#)
DN PubMed ID: 16767257
TI Synthesis and functionalization of a highly fluorescent and completely
water-soluble poly(para-phenyleneethynylene) copolymer for
bioconjugation.
AU Lee Kangwon; Cho Jae Cheol; Deheck Jennifer; Kim Jinsang
CS Department of Materials Science and Engineering, University of Michigan,
Ann Arbor, MI 48109, USA.
SO Chemical communications (Cambridge, England), (2006 May 14) No.
18, pp. 1983-5. Electronic Publication: 2006-04-04.
Journal code: 9610838. ISSN: 1359-7345.
CY England; United Kingdom
DT Journal; Article; (JOURNAL ARTICLE)
LA English
FS NONMEDLINE; IN-DATA-REVIEW; IN-PROCESS; NONINDEXED; Priority Journals
ED Entered STN: 13 Jun 2006
Last Updated on STN: 13 Jun 2006

L2 ANSWER 7315 OF 7315 MEDLINE on STN
AN 2006112978 IN-PROCESS [Full-text](#)
DN PubMed ID: 16460886
TI Effect of stimulus orderability and reinforcement history on transitive
responding in pigeons.
AU Lazareva Olga F; Wasserman Edward A
CS University of Iowa, IA 52242, USA.. olga-lazareva@uiowa.edu
SO Behavioural processes, (2006 May 1) Vol. 72, No. 2, pp. 161-72.
Electronic Publication: 2006-02-07.

: 省略

MEDLINE の強化

■ 参照 PubMed ID を収録するコメント (/CM) フィールドを新設.

CM は ALL 表示形式で表示可能だが, BIB 表示形式には含まれない. CM を SELECT および ANALYZE すると, 参照 PubMed ID を抽出し, /DN を付与する. (参照先のレコードを検索・表示する際に利用)

=> S *NERVE REGENERATION/CT ← 神経再生が主題の文献を検索する
L1 8784 *NERVE REGENERATION/CT (4 TERMS)
(*NERVE REGENERATION'+XUSE/CT)

=> S L1 AND AB/FA ← 抄録を含むレコードに限定する
8296790 AB/FA
L2 6876 L1 AND AB/FA

=> D 484 ALL

L2 ANSWER 484 OF 6876 MEDLINE on STN

AN 2004604668 MEDLINE [Full-text](#)

DN PubMed ID: 15577351

TI Anti-CD40 ligand antibody permits regeneration through peripheral nerve allografts in a nonhuman primate model.

AU Brenner Michael J; Jensen John N; Lowe James B 3rd; Myckatyn Terence M; Fox Ida K; Hunter Daniel A; Mohanakumar T; Mackinnon Susan E

CS Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, the Division of Plastic and Reconstructive Surgery, Washington University School of Medicine, St. Louis, Mo. 63110, USA.

NC 5R-01 NS33406-10 (NINDS)

T32 DC 0022-15 (NIDCD)

SO Plastic and reconstructive surgery, (2004 Dec) Vol. 114, No. 7, pp. 1802-14; discussion 1815-7.

Journal code: 1306050. E-ISSN: 1529-4242.

CM Comment on: *Plast Reconstr Surg.* 1992 Oct;90(4):695-9. PubMed ID: 1410009

Comment on: *Plast Reconstr Surg.* 2001 May;107(6):1419-29. PubMed ID:

11335811

Comment on: *Plast Reconstr Surg.* 2002 Feb;109(2):825-6. PubMed ID:

11818887

CY United States

DT Commentary

Letter

LA English

FS Abridged Index Medicus Journals; Priority Journals

EM 200507

ED Entered STN: 4 Dec 2004

Last Updated on STN: 31 Jul 2005

Entered Medline: 29 Jul 2005

AB Systemic immunosuppression is typically required to prevent allograft rejection. Antibody-based therapies that induce immune unresponsiveness represent an appealing alternative to nonspecific immunosuppression, which is often associated with significant morbidity. In mice, successful prevention of nerve allograft rejection has been demonstrated through interference with the CD40/CD40 ligand interaction. This study investigated the effectiveness of anti-CD40 ligand monoclonal antibody as single-agent therapy in preventing rejection and supporting nerve regeneration across long nerve allografts in nonhuman primates. Twelve outbred cynomolgus macaques were arranged into six genetically mismatched pairs, with each animal receiving a 5-cm ulnar nerve allograft in the right arm and a 5-cm autograft in the left arm. Mixed lymphocyte reaction assays were used to assess resulting immune unresponsiveness. Treated animals (n = 10) received anti-CD40 ligand monoclonal antibody 10 mg/kg one time, locally applied, and 20 mg/kg systemically on postoperative days 0, 1, 3, 10, 18, and 28, and then monthly.

MEDLINE の強化

Untreated animals (n = 2) served as the untreated controls. At 4 or 6 months after transplantation, nerves were harvested for histological analysis. Four treated animals underwent an additional challenge after cessation of anti-CD40 ligand monoclonal antibody therapy and nerve graft harvests. Autogenous and allogeneic skin and nerve inlay grafting was performed to assess the permanence of immune unresponsiveness induced by anti-CD40 ligand monoclonal antibody. Animals that received anti-CD40 ligand monoclonal antibody demonstrated robust regeneration across nerve allografts, similar to that seen in the autograft control in the contralateral arm. The histomorphometric analysis of allografts in the untreated animals demonstrated significantly worse measurements compared with their matched autograft controls. Animals that received anti-CD40 ligand monoclonal antibody with concomitant skin allografts had virtually no evidence of nerve regeneration through allografts. Allogeneic skin and nerve allografts applied 2 to 12 months after withdrawal of anti-CD40 ligand monoclonal antibody therapy were consistently rejected. This study demonstrates that anti-CD40 ligand monoclonal antibody prevents rejection and allows regeneration of peripheral nerve allografts in nonhuman primates. The effect of anti-CD40 ligand monoclonal antibody appears to be transient, however, with restoration of immunocompetence shortly after withdrawal of therapy.

CT Animals
 *Antibodies, Monoclonal: PD, pharmacology
 *CD40 Ligand: PD, pharmacology
 Graft Rejection: IM, immunology
 *Graft Rejection: PC, prevention & control
 Immunosuppression: MT, methods
 Models, Animal
 *Nerve Regeneration: IM, immunology
 *Peripheral Nerves: TR, transplantation
 Primates
 Research Support, N.I.H., Extramural
 Research Support, U.S. Gov't, P.H.S.
 *Transplantation Tolerance: IM, immunology
 RN 147205-72-9 (CD40 Ligand)
 CN 0 (Antibodies, Monoclonal)

=> SEL 484 CM ← CM フィールドの PubMed ID を抽出する
 E1 THROUGH E3 ASSIGNED

=> D SEL
 E1 1 11335811/DN
 E2 1 11818887/DN
 E3 1 1410009/DN

=> S E1-3 ← CM フィールドの PubMed ID で検索する
 1 11335811/DN
 1 11818887/DN
 1 1410009/DN
 L3 3 (11335811/DN OR 11818887/DN OR 1410009/DN)

=> D ALL 1-3

L3 ANSWER 1 OF 3 MEDLINE on STN
 AN 2002090742 MEDLINE [Full-text](#)
 DN PubMed ID: **11818887**
 TI Nerve allografting represents a unique situation.
 AU Hettiaratchy Shehan; Mathes David W; Petit Francois; Lee W P Andrew
 SO Plastic and reconstructive surgery, (2002 Feb) Vol. 109, No. 2, pp.825-6.

MEDLINE の強化

Journal code: 1306050. ISSN: 0032-1052.
CM Comment on: Plast Reconstr Surg. 2001 May;107(6):1419-29. PubMed ID: 11335811
 Comment in: Plast Reconstr Surg. 2004 Dec;114(7):1802-14; discussion 1815-7. PubMed ID: 15577351

CY United States
 DT Commentary
 Letter
 LA English
 FS Abridged Index Medicus Journals; Priority Journals
 EM 200202
 ED Entered STN: 31 Jan 2002
 Last Updated on STN: 15 May 2002
 Entered Medline: 21 Feb 2002

CT Extremities: IR, innervation
 Humans
 *Immunosuppressive Agents: AD, administration & dosage
 *Peripheral Nerves: TR, transplantation
 *Transplantation Immunology
 Transplantation, Homologous

CN 0 (Immunosuppressive Agents)

L3 ANSWER 2 OF 3 MEDLINE on STN
 AN 2001239361 MEDLINE [Full-text](#)
 DN PubMed ID: **11335811**
 TI Clinical outcome following nerve allograft transplantation.
 AU Mackinnon S E; Doolabh V B; Novak C B; Trulock E P
 CS Division of Plastic and Reconstructive Surgery and the Division of Pulmonary Medicine, Washington University School of Medicine, St. Louis, MO 63110, USA. mackinnons@msnotes.wustl.edu
 SO Plastic and reconstructive surgery, (2001 May) Vol. 107, No. 6, pp. 1419-29.
 Journal code: 1306050. ISSN: 0032-1052.

CM Comment in: Plast Reconstr Surg. 2002 Feb;109(2):825-6. PubMed ID: 11818887
 Comment in: Plast Reconstr Surg. 2004 Dec;114(7):1802-14; discussion 1815-7. PubMed ID: 15577351

CY United States
 DT (CASE REPORTS)
 Journal; Article; (JOURNAL ARTICLE)
 LA English
 FS Abridged Index Medicus Journals; Priority Journals
 EM 200106
 ED Entered STN: 11 Jun 2001
 Last Updated on STN: 15 May 2002
 Entered Medline: 7 Jun 2001

AB The clinical outcome of seven patients who underwent reconstruction of long upper- and lower-extremity peripheral nerve gaps with interposition peripheral nerve allografts is reported. Patients were selected for transplantation when the nerve gaps exceeded the length that could be reconstructed with available autograft tissue. Before transplantation, cadaveric allografts were harvested and preserved for 7 days in University of Wisconsin Cold Storage Solution at 5 degrees C. In the interim, patients were started on an immunosuppressive regimen consisting of either cyclosporin A or tacrolimus (FK506), azathioprine, and prednisone. Immunosuppression was discontinued 6 months after regeneration across the allograft(s) was evident. Six patients demonstrated return of motor function and sensation in the affected limb, and one patient experienced rejection of the allograft secondary to subtherapeutic immunosuppression. In addition to providing the ability to restore nerve continuity in severe extremity

MEDLINE の強化

injuries, successful nerve allografting protocols have direct applicability to composite tissue transplantation.

CT Check Tags: Female; Male
 Adolescent
 Adult
 *Arm Injuries: SU, surgery
 Child
 Child, Preschool
 Humans
 Immunosuppressive Agents: TU, therapeutic use
 *Leg Injuries: SU, surgery
 Peripheral Nerves: IN, injuries
 *Peripheral Nerves: TR, transplantation
 Reconstructive Surgical Procedures
 Soft Tissue Injuries: SU, surgery
 Tacrolimus: TU, therapeutic use
 Treatment Outcome

RN 109581-93-3 (Tacrolimus)
 CN 0 (Immunosuppressive Agents)

L3 ANSWER 3 OF 3 MEDLINE on STN
 AN 93028927 MEDLINE [Full-text](#)
 DN PubMed ID: **1410009**
 TI Clinical application of peripheral nerve transplantation.
 AU Mackinnon S E; Hudson A R
 CS Division of Plastic Surgery, Washington University and Barnes Hospital, St. Louis, Mo.
 SO Plastic and reconstructive surgery, (1992 Oct) Vol. 90, No. 4, pp. 695-9. Journal code: 1306050. ISSN: 0032-1052.
 CM Comment in: Plast Reconstr Surg. 2004 Dec;114(7):1802-14; discussion 1815-7. PubMed ID: 15577351

CY United States
 DT (CASE REPORTS)
 Journal; Article; (JOURNAL ARTICLE)

LA English
 FS Abridged Index Medicus Journals; Priority Journals
 EM 199210
 ED Entered STN: 22 Jan 1993
 Last Updated on STN: 22 Jan 1993
 Entered Medline: 28 Oct 1992

AB Surgical reconstruction of extensive peripheral nerve injuries frequently exhausts the patient's own source of expendable autogenous nerve grafts. Nerve allografts would offer a limitless supply of graft material. A 23-cm, 10-cable sciatic nerve allograft was performed in an 8-year-old boy in September of 1988. The patient was managed with Cyclosporin A for 2 years. Forty-four months after the transplant surgery and 19 months after the cessation of Cyclosporin A therapy, the patient has evidence of nerve regeneration across the allograft with recovery of functional sensibility in his foot. In the selected patient with an otherwise irreparable nerve injury, consideration can be given to the use of a nerve allograft.

CT Check Tags: Male
 Child
 Extremities: IR, innervation
 Humans
 Nerve Regeneration
 *Peripheral Nerves: TR, transplantation
 Research Support, Non-U. S. Gov't
 *Sciatic Nerve: IN, injuries
 Sciatic Nerve: SU, surgery
 Transplantation, Autologous: MT, methods

EMBASE/EMBAL の強化

- EMBASE (Excerpta MEDICA) ファイルは、医学および薬学に関する文献データベースである。特に医薬品に関する索引が優れている。EMBAL ファイルは、EMBASE ファイルに収録予定の最新 8 週間分の文献情報を収録している。

・ ファイル概要 (EMBASE ファイル)

(2006 年 5 月現在)

作成機関	Elsevier B. V.
収録源	世界約 70 ヶ国で出版されている約 4,000 雑誌から収録。 書籍, 会議録, レポートの収録 (ファイルの約 5%) 特許, ハンドブック, モノグラフ, 学位論文は収録していない。
収録内容	人間医薬および生物医学関連分野を収録している。 <ul style="list-style-type: none"> － 開発から臨床までの医薬品研究全般 － 基礎生物学 － 生化学 － 微生物学 － 細菌学 など
収録件数	レコード数 1,046 万件 以上
収録期間	1974 年から現在まで
更新頻度	毎日
アラート	毎週, または隔週
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ CAS 登録番号が全期間に索引されている。 ・ 速報性にすぐれている。 (速報ファイルの EMBAL ファイルを利用すれば, より速く情報を入手できる。) ・ 練習用 (LEARNING) ファイルとして廉価な LEMBASE ファイルがある。 (LEMBASE ファイルは更新されない)
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続時間料金 (1 時間あたり) : 17,800 円 ・ オンラインディスプレイ料金 (回答 1 件当たり) : <ul style="list-style-type: none"> － BIB (デフォルト), ALL 表示形式 : 402 円 (EMBASE), 473 円 (EMBAL) － TRIAL, SAM, IND, AN 表示形式 : 無料

・ 更新頻度の変更 (EMBASE)

- － 更新頻度が「毎日」に変更された。(従来は毎週)

※ アラート (自動 SDI 検索) の実行は, 従来どおり「毎週」か「隔週」。

・ 電子版の国際逐次刊行物番号 (E-ISSN) と記事番号 (ARN) を SO フィールドに追加

- － E-ISSN 番号は ISN (国際標準 (資料) 番号) 形式でも表示され, /SO あるいは /ISN で検索可能。(EMBASE/EMBAL ファイル)
- － 記事番号は /SO で検索可能。(EMBASE ファイル)

EMBASE/EMBAL の強化

■ リンク語で限定する際の検索方法の変更

- ・ 統制語とリンク語を組み合わせて検索する際の入力形式が変更された。
 - 今後の検索方法: => S 統制語/CT (P) リンク語/CT
- ・ EMBASE/EMBAL ファイルでは、主題を的確に限定する際に統制語とリンク語を組み合わせて検索できる。
 - 統制語とリンク語を組み合わせる際に、従来は (L) 演算子を使用していたが、近年、1レコードあたりの索引情報量が増加してきたため、(L) 演算子の機能では的確に限定しきれなくなった。2006年5月現在、(L) 演算子を使用した場合、ノイズが1,100万件中200件程度の確率で発生する。
- ・ 検索例：長時間作用性局所麻酔薬 Ropivacaine の副作用に関する検索

=> FILE EMBASE

=> E ROPIVACAINE/CT 5 ← 統制語を確認

E#	FREQUENCY	AT	TERM
E1	7		ROPITOIN/CT
E2	1		ROPITOIN: PD, PHARMACOLOGY/CT
E3	2482	12 -->	ROPIVACAINE/CT
E4	0	2	ROPIVACAINE HYDROCHLORIDE/CT
E5	1		ROPIVACAINE MESYLATE/CT

=> S ROPIVACAINE/CT(L)AE ← リンク語と (L) 演算子で組み合わせて検索

L1 726 ROPIVACAINE/CT(L)AE

=> S ROPIVACAINE/CT(P)AE ← リンク語と (P) 演算子で組み合わせて検索

L2 723 ROPIVACAINE/CT(P)AE

=> D L2 3 BIB HIT ← BIB HIT 表示形式で表示

L2 ANSWER 3 OF 723 EMBASE COPYRIGHT (c) 2006 Elsevier B.V. All rights reserved on STN

AN 2006145214 EMBASE Full-text

TI Unilateral bronchospasm after interpleural analgesia with bupivacaine [2].

AU Lee T.L.

GS Dr. T.L. Lee, National University Hospital, Anesthesia, Singapore, Singapore. analeetl@nus.edu.sg

SO Acta Anaesthesiologica Scandinavica, (2006) Vol. 50, No. 4, pp. 518. .

Refs: 3

ISSN: 0001-5172 E-ISSN: 1399-6576 CODEN: AANEAB

CY Denmark

DT Journal; Letter

FS 015 Chest Diseases, Thoracic Surgery and Tuberculosis

024 Anesthesiology

037 Drug Literature Index

038 Adverse Reactions Titles

052 Toxicology

LA English

ED Entered STN: 6 Apr 2006

Last Updated on STN: 6 Apr 2006

EMBASE/EMBAL の強化

CT Medical Descriptors:
 *bronchospasm: SI, side effect
 :
 priority journal
 CT Drug Descriptors:
 *bupivacaine: AE, adverse drug reaction
 *bupivacaine: CM, drug comparison
 *bupivacaine: TO, drug toxicity
 *bupivacaine: PL, intrapleural drug administration
 *bupivacaine: PK, pharmacokinetics
 *bupivacaine: PD, pharmacology
 adrenalin: CB, drug combination
 adrenalin: PL, intrapleural drug administration
ropivacaine: AE, adverse drug reaction
 ropivacaine: CM, drug comparison

=> S L1 NOT L2 ← (L) 演算子でのみヒットした回答に限定
 L3 3 L1 NOT L2

=> D 1-3 BIB HIT ← BIB HIT 表示形式で表示

L3 ANSWER 1 OF 3 EMBASE COPYRIGHT (c) 2006 Elsevier B.V. All rights reserved on STN
 AN 2005437175 EMBASE Full-text
 TI Neuraxial infusions.
 AU Phan P.C.; Are M.; Burton A.W.
 CS Dr. A.W. Burton, Department of Anesthesiology and Pain Medicine, University of Texas, M.D. Anderson Cancer Center, 1515 Holcombe-042, Houston, TX 77030, United States. awburton@mdanderson.org
 SO Techniques in Regional Anesthesia and Pain Management, (2005) Vol. 9, No. 3, pp. 152-160. .
 Refs: 62
 ISSN: 1084-208X CODEN: TRAMFV
 PUI S 1084-208X(05)00049-2
 CY United States
 DT Journal; General Review
 FS 008 Neurology and Neurosurgery
 024 Anesthesiology
 037 Drug Literature Index
 038 Adverse Reactions Titles
 039 Pharmacy
 LA English
 SL English
 ED Entered STN: 27 Oct 2005
 Last Updated on STN: 27 Oct 2005
 CT Medical Descriptors:
 *cancer pain: DM, disease management
 :
 review
 CT Drug Descriptors:
 *analgesic agent: **AE, adverse drug reaction** ← ノイズ
 :
 adenosine: PD, pharmacology
 CT Drug Descriptors:
ropivacaine: DT, drug therapy
 :

CAS FILES の強化 (2005 年 5 月以降)

ファイル名	強化内容	開始時期	
REGISTRY	物性データの強化 - 実測物性値の追加 - ¹³ C-NMR, IR, MASS スペクトルデータ (実測値) の収録開始 - 予想物性値の更新・追加	2005. 6 2005.11 2006. 3 2005. 9	
	ポリマー関連の強化 - SRU ポリマーの索引名の更新 - ブロック共重合体の表記変更完了	2005. 8 2005. 8	
	配列情報の強化 - 配列の登録基準の変更	2005. 7	
	その他の強化 - CHEMCATS ファイルの提供業者情報の追加 - Roentgeniun (Rg) を追加	2005. 5 2005. 5	
CAplus/CA	特許情報の強化 - 主要特許発行機関にカナダ (CA) を追加 - 2000 年以前に発行された特許の追加収録 * - IPC リフォームへの対応 - 米国特許出願番号の収録方法の変更 - 1900-1906 年に発行された米国特許情報の追加 - Vol 65 以前のレコードに優先権情報を追加	2005. 8 2005. 8 2006. 1 2005. 9 2006. 5 2005. 8	
	収録情報の強化 - 1879 - 1899 年の文献レコードを追加 - ドイツ学術研究論文の追加収録 - 会社名 (CO) フィールドのリロード	2005. 8 2005.12 2005.12	
	索引情報の強化	(随時追加)	
MARPAT	表記の強化 - MSTR 表示の変更 - FQHIT, QHIT 表示形式の改善 1987 年以前のデータ追加	2005. 6 2006. 4 2006. 1	
MARPATprev	サービス中止	2005.12	
CASREACT	表示フィールド CON (反応条件) を追加 収録反応数が 1,000 万件突破	2005. 8 2006. 1	
CHEMLIST	検索・表示フィールドの追加 - 米国食品医薬品局規制情報 (/FDA) 台帳情報の更新	2005. 7 (随時更新)	
CHEMCATS	収録レコード数が 1,000 万を突破	2006. 4	
CASLINK	MARPATprev ファイル削除	2005.12	
CAS FILES 全般	構造検索システム制限値の緩和	2005. 7	
			REGISTRY CASREACT MARPAT
	オンライン検索		1,000,000 1,000,000 100,000 30 分
	バッチ検索	1,500,000 1,500,000 150,000 180 分	

* CAplus ファイルのみの強化 (CA ファイル変更なし)

REGISTRY の強化 - 物性データの強化

■ 実測物性値の追加

- ・ 約 25,000 物質に対して, 約 34,000 件の実測物性値が追加された.
- ・ 主な出典
 - Hazardous Substances Data Bank (the National Library of Medicine (NLM))
 - PhysProp (Syracuse Research Corporation of Syracuse, New York (SRC))
 - Drugs Synonyms and Properties (Ashgate Publishing Co. (APC))
 - International Chemical Safety Cards (the National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH))

■ ¹³C-NMR, IR, MASS スペクトルデータ (実測値) の収録を開始

- ・ ¹³C-NMR と IR スペクトルは 2005 年 11 月から, MASS スペクトルは 2006 年 3 月から収録を開始した.
- ・ 収録している実測スペクトルの件数および収録源 (2006 年 5 月)

スペクトル		レコード数	収録源
全スペクトル	SPECTRA/FA	138,250 件	
¹³ C-NMR	CARBON-13 NMR SPECTRA/FA	104,112 件	WSS (1)
IR	IR SPECTRA/FA	16,351 件	NIAIST(2)
MASS	MASS SPECTRA/FA	31,139 件	WSS (1)

(1) Wiley Subscriptions Services, Inc. (WSS) 提供

(2) “Integrated Spectral Data Base System of Organic Compounds”
(National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
in Japan (NIAIST) 提供)

・ 検索フィールドの新設

- 物性種類の検索フィールド (灰色部分 : 新しく追加されたフィールド)

検索フィールド	和名	入力例	表示フィールド
/FA *	フィールドの存在 (実測・予測物性値の種類)	=> S TG/FA => S BCF/FA => S IR SPECTRA/FA => S MASS SPECTRA/FA	表示されない
/SPEC	スペクトル	=> S IR SPECTRA/SPEC => S NMR SPECTRA/SPEC => S MASS SPECTRA/SPEC	SPEC

* /FA は, 物性データ以外のフィールドの存在 (物質同定情報) も含まれている

REGISTRY の強化 - 物性データの強化

- ・ 物性関連の定型表示形式（灰色部分：新しく追加された表示形式）

表示形式	内 容	料 金
PRFA (FA)	物性データの存在	無料
EPROP	すべての実測物性値の表形式表示 (コード, 物性名, 物性値:スペクトルへのリンク* を含む, 条件, 注記, CAplusの出典情報)	154 円
ETAG	実測物性値に関する参照文献タグ (表形式表示, 各物性について各1行 (1参照文献) を表示)	無料
ETAGFULL	実測物性値に関する参照文献タグ (表形式表示, すべての参照文献を表示)	無料
EPROPS	EPROP, ETAG	154 円
PPROP (CALC)	すべての予想物性値 (計算物性値) の表形式表示	154 円
PROP (APROPS)	実測物性値, 参照文献タグ, 予想物性値の表形式表示 (EPROP, SPEC , ETAG, PPROP)	**
SPEC	すべてのスペクトル*	無料
SPEC.IR	IR スペクトル*	無料
SPEC.C13NMR	C13-NMR スペクトル*	無料
SPEC.MASS	MASS スペクトル*	無料
FIDE	すべての名称, 物質情報および物性テーブル (RN, ED, CN, ENTE, DEF, AR, PR, FS, DR, RR, MF, AF, CI, PCT, SR, LC, DT.CA, RL.P, RLD.P, RL.NP, RLD.NP, IL, RSD, CRN, CMF, CCI, CIL, STR, COMP, EPROP, ETAG, PPROP , REF)	246 円
ALL	存在するすべての物質情報, CAplus ファイルのスーパーロールおよび資料種類, 物性テーブル (EPROP, ETAG, PPROP), および CA ファイル中の最新の 10 文献の BIB ABS IND の情報	**
MAX	存在するすべての物質情報, CAplus ファイルのスーパーロールおよび資料種類, 物性テーブル (EPROP, ETAGFULL, PPROP), および CA ファイル中の最新の 10 文献の BIB ABS IND の情報	**

* : STN on the Web および STN Express V5.0 以降

** : 出力するフィールドにより料金が異なる

- ・ スペクトル表示可能な使用環境

【オンライン】

- STN on the Web
- STN Express V5.0 以降 (EPROP 表示からのスペクトルのリンクには STN Express V8.01 以降)

【オフライン】

- リンク付き電子メール (RTF, PDF, HTML 形式), STNmail (表示は STN on the Web, あるいは STN Express V5.0 以降を使用)
- 郵送にはスペクトルは含まれない

【他システム】

- SciFinder

注) STN Easy での利用は不可

REGISTRY の強化 - 物性データの強化

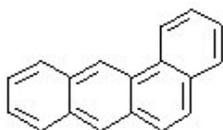
■ 検索例 : ベンズアントラセンのスペクトル情報を得る

```
=> FILE REGISTRY
=> E BENZANTHRACENE/CN 5 ← ベンズアントラセンの名称を EXPAND する
E1          1      BENZANTHANTHRENE/CN
E2          1      BENZANTHRACENAMINE/CN
E3          1  --> BENZANTHRACENE/CN
E4          1      BENZANTHRACENE CATION/CN
E5          1      BENZANTHRACENE, COMPD. WITH HEXACHLOROCYCLOPENTADIENE/CN
```

```
=> S E3
L1          1 BENZANTHRACENE/CN
```

```
=> D SCAN          ← SCAN 表示形式で表示 (無料)
```

```
L1  1 ANSWERS  REGISTRY  COPYRIGHT 2006 ACS on STN
IN  Benz[a]anthracene (8Cl, 9Cl)
MF  C18 H12
CI  COM, RPS
```



```
**PROPERTY DATA AVAILABLE IN THE 'PROP' FORMAT** ← 物性値が存在する
```

ALL ANSWERS HAVE BEEN SCANNED

```
=> D PRFA          ← 物性情報の存在を表示 (無料)
```

```
L1  ANSWER 1 OF 1  REGISTRY  COPYRIGHT 2006 ACS on STN
Available Properties (PRFA)
```

```
CODE      | PROPERTY
=====+=====
```

Experimental Data ← 実測物性値

```
BP      Boiling Point
DEN      Density
MP      Melting Point
SPEC     Carbon-13 NMR Spectra ← 13C-NMR スペクトル
SPEC     IR Absorption Spectra ← IR スペクトル
SPEC     Mass Spectra ← MASS スペクトル
ETAG     Experimental Tags
```

Predicted Data ← 計算物性値

```
BCF      Bioconcentration Factor
BP      Boiling Point
DEN      Density
FP      Flash Point
FRB      Freely Rotatable Bonds
HAC      H acceptors
HD       H donors
HDAS     Hydrogen Donors/Acceptors Sum
HVAP     Enthalpy of Vaporization
ISLB.MASS Mass Intrinsic Solubility
ISLB.MOL Molar Intrinsic Solubility
```

REGISTRY の強化 - 物性データの強化

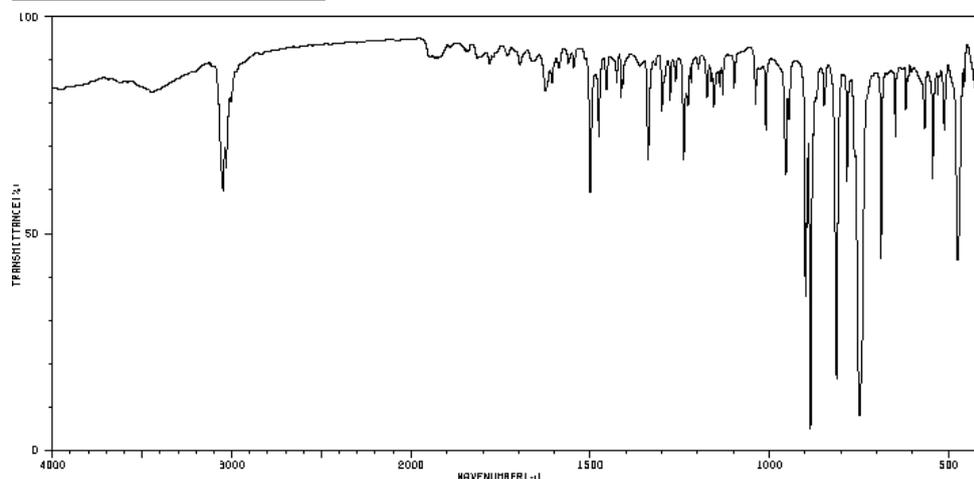
=> D SPEC

← SPEC 表示形式で表示 (無料)

L1 ANSWER 1 OF 1 REGISTRY COPYRIGHT 2006 ACS on STN

IR スペクトルの表示

IR Absorption Spectra

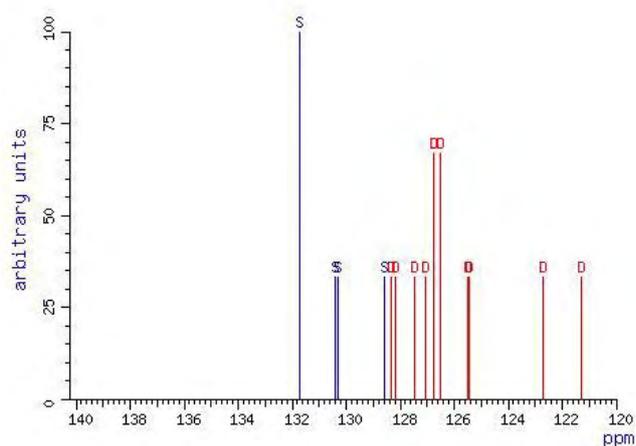


Spectrum ID: NIDA65725
Spectrometer: Nicolet 170SX or JASCO FT/IR-410
Source: "Integrated Spectral Data Base System of Organic Compounds" data were obtained from the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (Japan)

COPYRIGHT 2006 ACS on STN

Carbon-13 NMR Spectra

C13-NMR スペクトルの表示

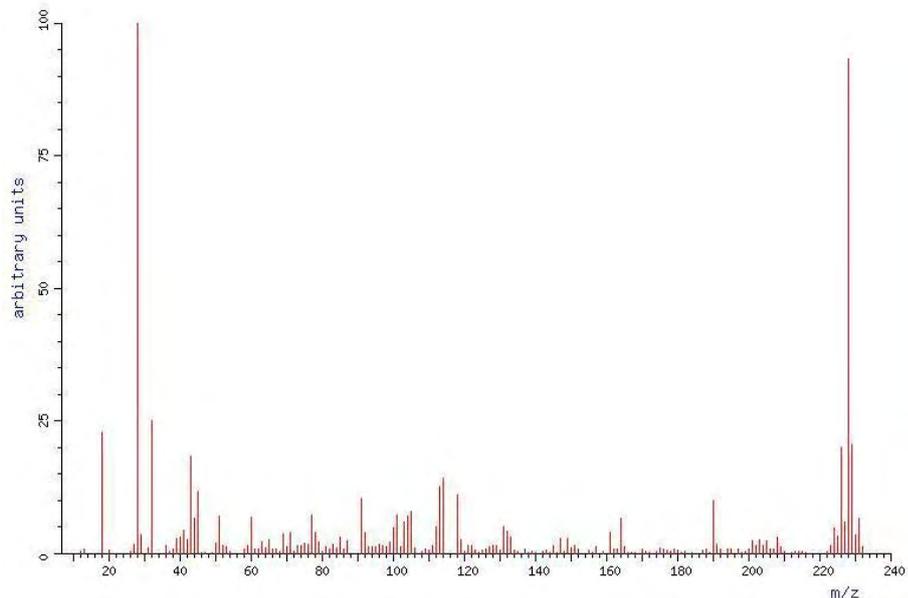


Spectrum ID: CNCC-93440-897C
Solvent: chloroform-d (865-49-6)
Standard: tetramethylsilane
Spectrometer: VARIAN FT-80
Source: Spectral data were obtained from Wiley Subscription Services, Inc. (US)

COPYRIGHT 2006 ACS on STN

Mass Spectra

MASS スペクトルの表示



Spectrum ID: ID_WID-DLO-075806-5
 Number Of Peaks: 177
 Nominal Mass: 228
 Source: Spectral data were obtained from Wiley Subscription Services, Inc. (US)

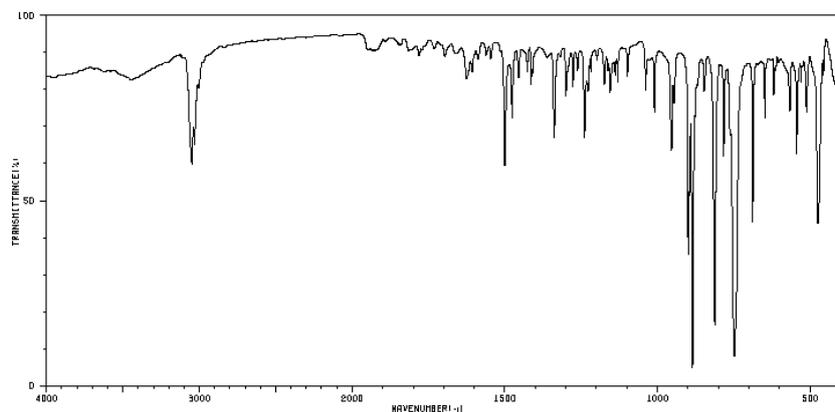
COPYRIGHT 2006 ACS on STN

=> D SPEC. IR ← IR スペクトルの表示 (無料)

L1 ANSWER 1 OF 1 REGISTRY COPYRIGHT 2006 ACS on STN

各スペクトルを個別に表示
 することも可能

IR Absorption Spectra



Spectrum ID: NIDA65725
 Spectrometer: Nicolet 170SX or JASCO FT/IR-410
 Source: "Integrated Spectral Data Base System of Organic Compounds" data were obtained from the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (Japan)

COPYRIGHT 2006 ACS on STN

REGISTRY の強化 - 物性データの強化

=> D EPROP

← すべての実測物性値の表形式表示 (154 円)

L1 ANSWER 1 OF 1 REGISTRY COPYRIGHT 2006 ACS on STN

Experimental Properties (EPROP)

PROPERTY (CODE)	VALUE	CONDITION	NOTE
Boiling Point (BP)	437.6 Cel		(1) NLM
Boiling Point (BP)	437.6 Cel		(2) SRC
Carbon-13 NMR Spectra	Spectrum		(3) WSS
Density (DEN)	1.274 g/cm**3		(4) NIOSH
Density (DEN)	1.245 g/cm**3	Temp: 20 deg C	(5) CAS
IR Absorption Spectra	Spectrum		(6) NIAIST
Mass Spectra	Spectrum		(3) WSS
Melting Point (MP)	435 deg C (sublm)		(4) NIOSH
Melting Point (MP)	165 deg C		
Melting Point (MP)	162 deg C		
Melting Point (MP)	160 deg C		
Melting Point (MP)	160 deg C		
Melting Point (MP)	160 deg C		
Melting Point (MP)	159 deg C		
Melting Point (MP)	159 deg C		(11) CAS

スペクトル表示可能
ただし、STN on the Web と
STN Express V8.01 使用時
↓
クリック

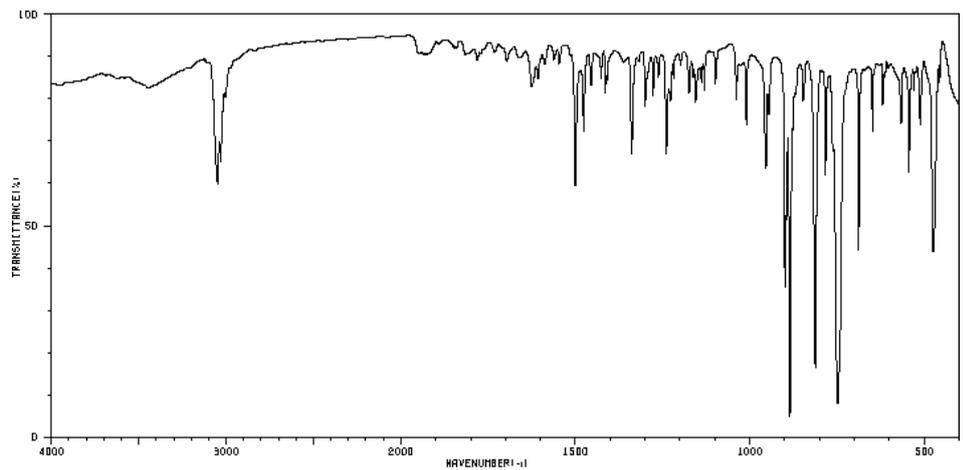
=> D ACC 56-55-3 I.N

← 自動的に実行 (追加料金なし)

ANSWER 1 REGISTRY COPYRIGHT 2006 ACS on STN

IR スペクトルの表示

IR Absorption Spectra



Spectrum ID: NIDA65725
Spectrometer: Nicolet 170SX or JASCO FT/IR-410
Source: "Integrated Spectral Data Base System of Organic Compounds" data were obtained from the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (Japan)

COPYRIGHT 2006 ACS on STN

REGISTRY の強化 - 物性データの強化

■ 予想物性値の更新・追加

- ・ 現在, 約 1,700 万レコード (単成分物質のみ) に予想物性値 (PPROP) が収録されているが 2005 年 9 月より収録された物質の予測物性値は ACD の新しいソフトウェアで計算されることになった.
- ・ これに伴い従来の予想物性値に加えて下記の項目が追加されるようになった.
 - 追加項目:
 - 密度 (DEN)
 - 固有溶解度 (ISLB.MASS, ISLB.MOL)
 - モル体積 (MVOL)
 - 極性表面積 (PSA)
 - 水素受容基と水素供与基の和 (HDAS)
- ・ バックファイル分の予想物性値も順次更新される予定である.
- ・ 追加された検索フィールド:

物性名	単位	検索フィールド
BCF (生物濃縮係数) 測定時の温度	deg C	/BCF.T
HVAP (蒸発エンタルピー) 測定時の圧力	Torr	/HVAP.P
水素供与基と水素受容基の和	non	/HDAS
Koc (有機炭素吸着係数) 測定時の温度	deg C	/KOC.T
LogD 測定時の温度	deg C	/LOGD.T
LogP 測定時の温度	deg C	/LOGP.T
固有質量溶解度	g/L	/ISLB.MASS
固有質量溶解度測定時の温度	deg C	/SLB.T
質量溶解度	g/L	/SLB.MASS
質量溶解度 Mass Solubility 測定時の pH	none	/SLB.PH
質量溶解度測定時の温度	deg C	/SLB.T
固有モル溶解度	mol/L	/ISLB.MOL
固有モル溶解度測定時の温度	deg C	/ISLB.T
モル溶解度測定時の温度	deg C	/SLB.T
モル体積	cm**3/mol	/MVOL
モル体積測定時の温度	deg C	/MVOL.T
モル体積測定時の圧力	Torr	/MVOL.P
pKa 測定時の温度	deg C	/PKA.T
PSA (極性表面積)	A**2	/PSA

REGISTRY 強化 - 配列情報の強化

■ 配列の登録基準の変更

- ・ GenBank 由来の配列の収録基準が変更され、文献で参照されていない配列情報は収録されなくなった。
- ・ 変更以降 REGISTRY ファイルに収録されない GenBank 配列情報
 - 文献(論文, 特許など)で参照されていない GenBank 配列情報
 - GSS(Genome Survey Sequence)
ゲノム由来の断片配列 : シングルパスで読んだコスミド, BAC, YAC など
 - EST(Expressed Sequence Tags)
発現配列タグ : cDNA の一部に相当する短い DNA 断片

REGISTRY ファイルの配列収録源(変更前)

- ・ CAplus ファイルの収録文献
 - 特許 : 50 ヶ国の特許発行機関と 3 国際機関 (ARIPO, EP, WIPO) から発行され, CAplus ファイルにベーシック特許として収録された特許
 - 雑誌論文
 - 会議録
 - 技術レポート
- ・ GenBank
 - 研究者から直接受領したデータ: 文献に掲載されていないものも含む。
 - 特許: 米国 (USPTO), 欧州 (EPO), 日本 (JPO) などの特許庁から不定期に提供されたデータ

REGISTRY ファイルの配列収録源(変更後)

- ・ CAplus ファイルの収録文献
 - 特許 : 50 ヶ国の特許発行機関と 3 国際機関 (ARIPO, EP, WIPO) から発行され, CAplus ファイルにベーシック特許として収録された特許
 - 雑誌論文
 - 会議録
 - 技術レポート
- ・ GenBank
 - 研究者から直接受領したデータ: 文献(論文, 特許, 会議録など)で参照された場合のみ
 - 特許 : 米国 (USPTO), 欧州 (EPO), 日本 (JPO) などの特許庁から不定期に提供されたデータ

CAplus/CA の強化 - 収録情報の強化

■ ドイツ学術研究論文を追加収録

- ・ドイツ国内の約 70 大学から発行された学位論文および Habilitationen (ドイツで教授資格を取得する際に提出される論文) が追加収録された (数千件)。

■ 会社名 (CO) シソーラスのリロード

- ・会社名のオンラインシソーラスフィールドである /CO のデータがリロードされた。このリロードにより下記の情報が追加されている。
 - 約 2,300 以上の新しい企業グループ
 - 約 8,500 の会社名
- ・会社名シソーラスの特徴
 - 特許出願人 (/PA) フィールドから得られた多数の関連会社名が含まれている。
 - 最も多く用いられる特許出願人、大規模の化学企業名を世界的に収録している。
 - 1840 年から現在までの情報をカバーしている。
 - 特許、雑誌記事、レポートなど種々の情報から会社名にアクセスできる。
- ・利用方法
 - シソーラスを見るときには /CO フィールドで EXPAND する。
 - 接続時間料が無料の ZCAplus ファイル (あるいは ZCA ファイル) で EXPAND すれば、経済的に利用できる。
 - シソーラスで確認した情報を検索に利用することができる。検索に利用する場合は検索語料が無料の HCAplus/HCA ファイルを利用すると経済的に検索を行うことができる。
 - 関係コードを使用し、複数のタームを検索した場合でも検索語料は 1 語分で検索可能。
 - 特許出願人について網羅的に検索を行う場合には /CO フィールドで確認した情報と、特許出願人 (/PA) フィールドを合わせて検索する。

CAplus/CA の強化 - 収録情報の強化

・ 会社名シソーラス表示例 : ダウケミカルの系列会社の確認

=> FILE ZCAPLUS ← 接続時間料が無料のファイルを使用

=> E DOW CHEMICAL/CO 5 ← /CO フィールドで EXPAND する

E#	FREQUENCY	AT	TERM
E1	570	2	DOW CHEM U S A/CO
E2	515	3	DOW CHEM USA/CO
E3	81	2 -->	DOW CHEMICAL/CO
E4	6	2	DOW CHEMICAL AUSTRALIA LTD/CO
E5	3	2	DOW CHEMICAL BELGIUM S A/CO

=> E E3+NAME ← 関係語 (AT) が 2 以上のタームに +NAME を付けて EXPAND する

E1	16104	NAME	DOW CHEMICAL CO/CO
E2	81	-->	DOW CHEMICAL/CO

***** END *****

=> E E1+ALL ← NAME で判明したタームに +ALL を付けて EXPAND する

E1	0	CNUM	CAS1000235/CO ← 会社名コード
E2	16104	-->	DOW CHEMICAL CO/CO

会社の沿革なども
確認できる

NOTES 1897: Dow Chemical Co. incorporated
 1898: Firma Johann Haltermann founded
 1900: Midland Chemical Co. merged into Dow Chemical Co.
 1917: Union Carbide & Carbon Corp. incorporated
 1920: Carbide and Carbon Chemicals Corp. established
 1933: Ethyl Dow Co. formed

E3	2	RT1	ADMIRAL EQUIP CO/CO
E4	32	RT1	AGRIGENET ADV SCI CO/CO
E5	33	RT1	AGRIGENET CORP/CO
E6	27	RT1	AGRIGENETICS INC/CO
E7	14	RT1	AGRIGENETICS RESEARCH ASSOCIATES LTD/CO
E8	9	RT1	ANGUS CHEM CO/CO

関連会社

E273	1236	JV1	ASAHI DOW LTD/CO
E274	5	JV2	ASAHI DOW CO/CO
E275	9	JV2	ASAHI DOW K K/CO
E276	4	JV1	DOW REICHHOLD SPECIALTY LATEX LLC/CO
NOTE 2001: Dow-Reichhold Specialty Latex LLC formed			
E277	15	JV1	DUPONT DOW ELASTOMERS LLC/CO
NOTE 1996: E. I. du Pont de Nemours & Co. and Dow Chemical Co. formed joint venture DuPont Dow Elastomers LLC			
E278	67	JV2	DUPONT DOW ELASTOMERS/CO
E279	135	JV2	DUPONT DOW ELASTOMERS L L C/CO
E280	14	JV2	DUPONT DOW ELASTOMERS S A/CO
E281	15	JV1	SUMITOMO DOW LTD/CO
NOTE 1992: Sumitomo Naugatuck K. K. renamed Sumitomo Dow Ltd.			
E282	54	JV2	SUMITOMO DOW K K/CO
E283	68	JV2	SUMITOMO DOW KK/CO
E284	67	JV2	SUMITOMO DOW LIMITED/CO
E285	460	JV2	SUMITOMO NAUGATUCK CO LTD/CO
E286	6	JV2	SUMITOMO NAUGATUCK K K/CO

ALL	全ての関係会社
CNUM	会社名コード
JV	合併した会社
NAME	上位の会社名
NOTE	ノート
RT	関連会社

***** END *****

CAplus/CA の強化 - 索引情報の強化

■ 第一～第七累積期間 (1 CI ~ 7 CI) の索引情報追加の継続

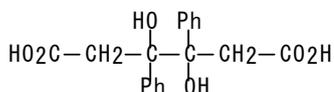
- CAplus/CAファイルでは、創刊年から 1966年 までのレコードについて、CAS登録番号の遡及索引を行っている。

- レコード例 :

AN 1912:2206 CAPLUS [Full-text](#)
 DN 6:2206
 OREF 6:341a-i,342a-e 1912年のレコード
 ED Entered STN: 16 Dec 2
 TI Synthesis of Chrysene
 AU Beschke, Erich
 CS Univ. Giessen.
 SO Ann. (1912), 384, 143-72
 DT Journal
 LA Unavailable
 CC 10 (Organic Chemistry)
 GI For diagram(s), see printed CA Issue.
 AB The two isomeric diethyl β,β' -diphenyl- β,β' -dihydroxyadipates, (I, II), were prepared by b. 45 g. benzil, 100 g. ethyl bromoacetate and 42 g. Zn filings with 180 cc. Na-dry C₆H₆ on a water bath until a distinct darkening appeared. The mixture is shaken with ice-cold 15- : C₁₈H₁₃, by heating with Zn dust. Chrysene, m. p. 250°, was fully identified by conversion into its picric acid derivative, and into chrysene quinone, m. 235°.
 IT Muconic acid, bromo- β,γ -diphenyl- α -Hydromuconic acid, γ -hydroxy- δ -iodo- β,γ -diphenyl-, α,γ -lactone
 IT Adipic acid, β,γ -dihydroxy- β,γ -diphenyl-, meso-Crotonolactone-3-acetic acid, 2,3-diphenyl- (and derivs.)
 IT 110195-60-3, β -Hydromuconic acid, β,γ -diphenyl-172302-95-3, 2,8-Chrysenediol **880141-44-6**, Adipic acid, β,γ -dihydroxy- β,γ -diphenyl- dl- (and derivs.)
 IT 408308-82-7, Muconic acid, β,γ -diphenyl- (derivs.)
 IT 502187-59-9, 2,8-Chrysenedione 861551-38-4, Chrysene, 2,8-diethoxy- (preparation of)
 IT 218-01-9, Chrysene (synthesis of)
 IT 861372-64-7, α -Hydromuconic acid, γ -hydroxy- β,γ -diphenyl- (α,γ -lactone and derivs.)

- REGISTRY ファイルのレコード (CAS 登録番号:880141-44-6)

RN **880141-44-6** REGISTRY
 ED Entered STN: **12 Apr 2006** ← 2006年4月に入力された
 CN Adipic acid, β,γ -dihydroxy- β,γ -diphenyl-, dl- (1CI) (CA INDEX NAME)
 FS 3D CONCORD ↑
 MF C18 H18 O6 第一累積索引期間の命名
 SR **CAS EARLY REGISTRATIONS** ← 遡及索引で作成されたレコードは SR フィールドに
 LC STN Files: CA, CAPLUS "CAS EARLY REGISTRATIONS" と記載される



インターフェースの強化

STN Express with *Discover!*

- STN Express with *Discover!* Analysis Edition – Version 8.0 for Windows が 2005 年 7 月にリリースされた。

- ・ STN Express V8.01a 無料アップグレード・メンテナンスファイルを提供

- STN Express V8.0/V8.01 の主な改良点

強化点	内容	バージョン
接続方法	・ RSA による telnet の暗号化	V8.0～
	・ SSL-VPN 接続	V8.01～
解析機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ CAS 登録番号とロールレポート機能 - CAplus/CA ファイルで得られた文献中に含まれる CAS 登録番号（化学物質固有の番号）と CAS ロール（化学物質の文献中での役割）を解析する新機能。 この機能で、ある化合物がどのような目的で使われているのかを解析することができる 解析結果は Excel シートで表示 	V8.0～
	<ul style="list-style-type: none"> ・ R-グループ分析ツール - RGP ファイル作成時に不要な物質を除くウィザートの追加 - 化合物や置換基のプレビュー - 特定の置換位置に着目したテーブルの作成 - 多成分物質を含めた R グループ分析テーブルの作成 	V8.0～
	<ul style="list-style-type: none"> - 結合の種類は問わず、骨格に着目した解析 - 基本骨格と化学物質の構造を含んだテーブルの作成 	V8.01～
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分析ウィザード・分析プラスウィザード - ウィザードの選択 - グループ化ツール（分析プラスウィザード） - デリミタ形式の保存データを再利用した Excel シートの作成（分析プラスウィザード） 	V8.0～
後処理機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーブルツール - Patent Information フィールド内の個別の項目の指定 - 特許ファミリーのマージ機能（Individual PI フィールド） - Full-text リンクを含む Excel シートへの変換 	V8.0～
	<ul style="list-style-type: none"> - IPC 関連の新表示形式に対応した表の作成 	V8.01～
	<ul style="list-style-type: none"> ・ レポートツール - RTF 変換時に 1 回答 / 1 ページにする設定 	V8.0～
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定型レポートツール - 各種の定型形式が編集可能に 	V8.0～
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ STN AnaVist 用の回答の保存 	V8.0～
	<ul style="list-style-type: none"> ・ DGENE, PCTGEN ファイル検索用の配列質問式アップロードウィザードの追加 	V8.0～
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人用辞書が編集可能に 	V8.0～
	<ul style="list-style-type: none"> ・ Questel-Orbit の Merged Markush Service (MMS) の利用 	V8.01～

インターフェースの強化

STN Express with *Discover!*

■ STN への接続方法が強化され、STN Express V8.0～では telnet の暗号化、V8.01～では、SSL-VPN 接続 (https プロトコルによる接続) が利用できるようになった。

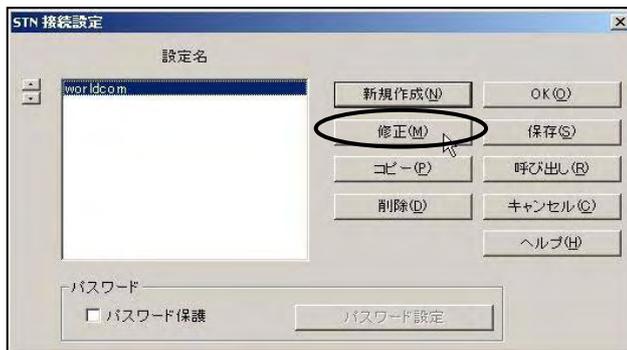
・ SSL-VPN 接続とは、暗号化・認証する通信プロトコル SSL (Secure Socket Layer) で通信する VPN (Virtual Private Network) 形式の接続方法。

・ SSL-VPN 接続の設定手順 (V8.01～)

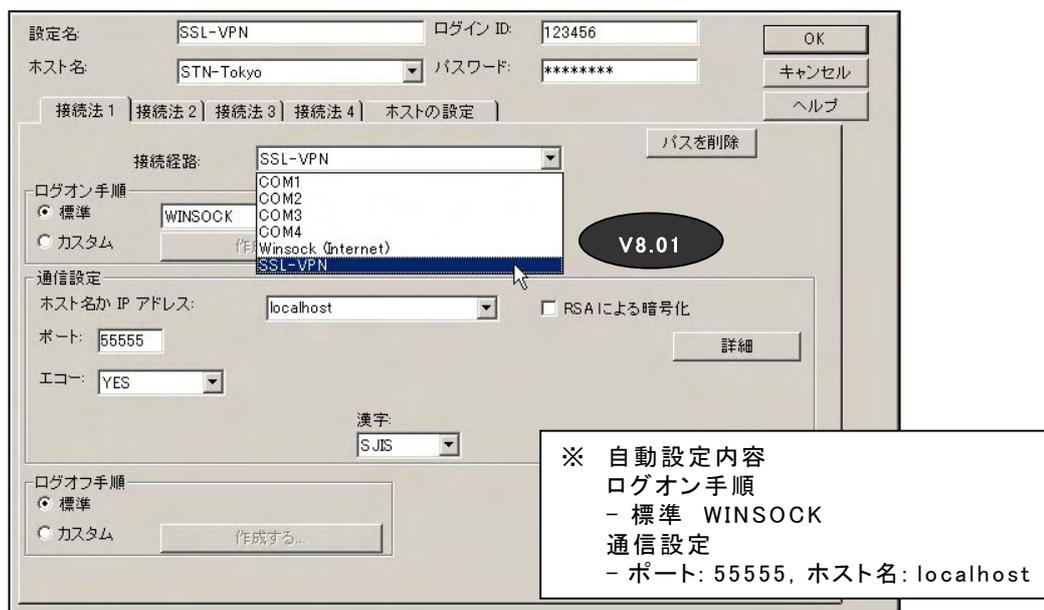
① STN Express を起動させ、設定のボタンをクリックする。



② 新しく設定する場合には、**新規作成 (N)**、既存の設定を変更したい場合は、変更する設定名を選択し、**修正 (M)** のボタンをクリックする。(今回は WorldCom 回線から SSL-VPN 接続へ変更する例を紹介する。WorldCom 回線の設定を選び、**修正 (M)** のボタンをクリックする。)



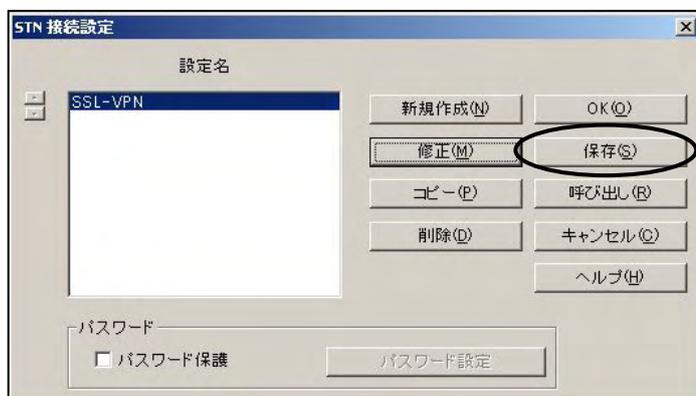
③ 接続経路 SSL-VPN を選択する。選択すると自動的に通信設定が変更される。なお、必要に応じて設定名を変更する。



インターフェースの強化

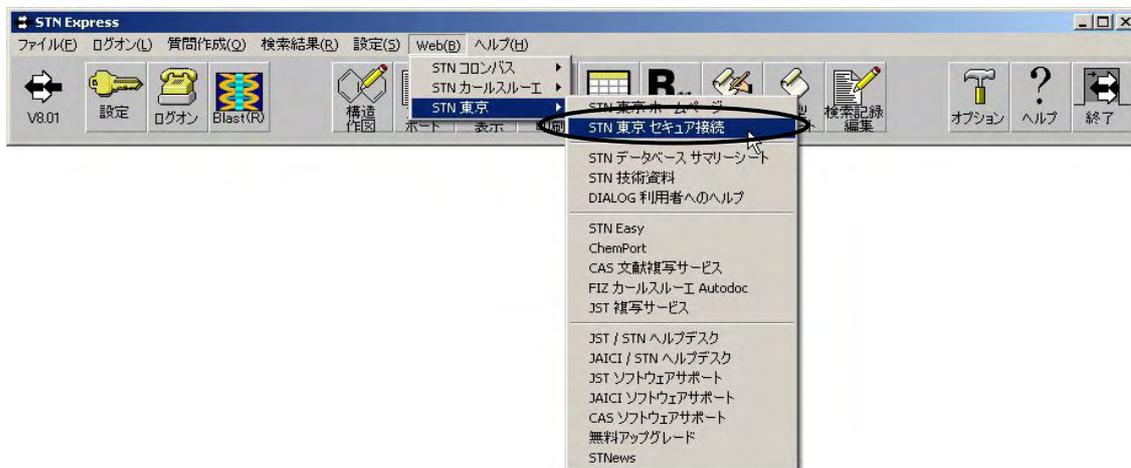
STN Express with *Discover!*

- ④ **保存(S)** をクリックし、設定を保存する。



※ SSL-VPN接続を利用する場合には、ログイン前に下記の操作を毎回必ず行う。
(注意： Web ブラウザのポップアップブロックは必ず OFF にするか、あるいは stnconnect.cas.org を許可するように設定する。)

- ① STN Express を起動させ、Web→STN 東京→STN 東京セキュア接続を選択する。



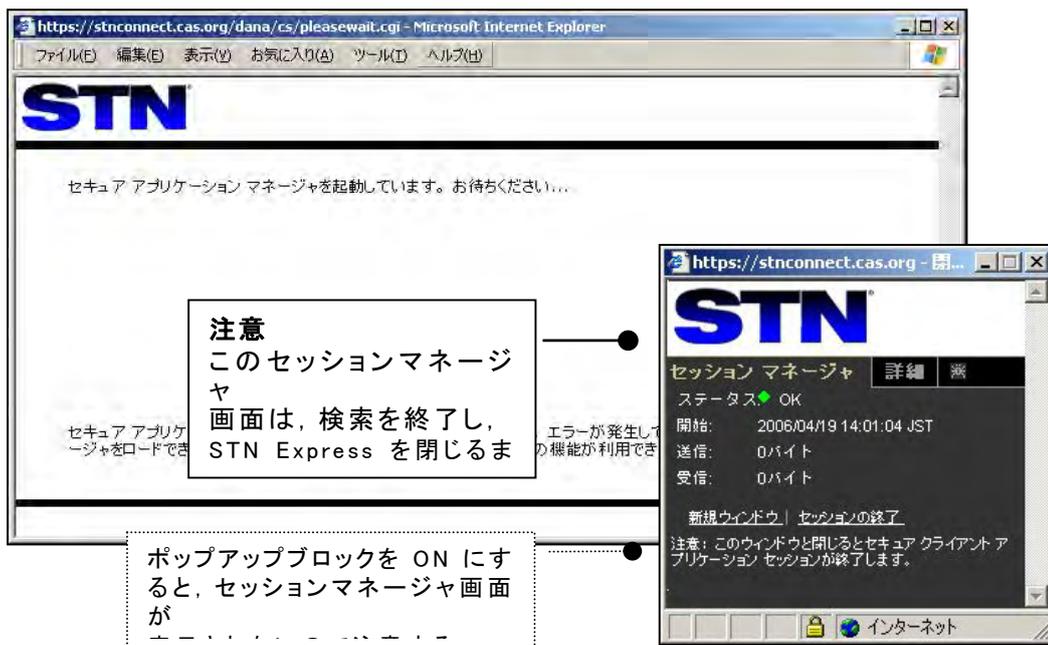
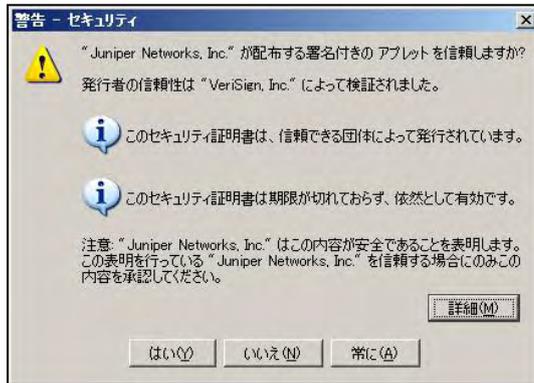
- ② ブラウザが開き、下記のような画面になるので、STN Tokyo をクリックする。



インターフェースの強化

STN Express with *Discover!*

- ③ セッションマネージャが起動する。(途中で下記のようなセキュリティーの警告が表示された場合は、「はい」または「常に」をクリックする。)



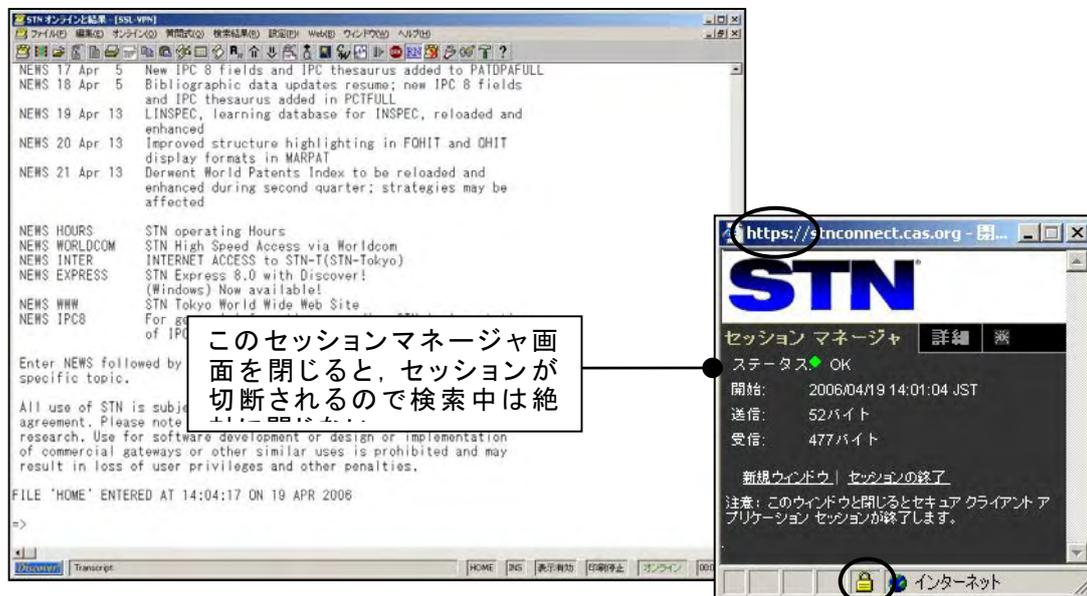
- ④ STN Express with *Discover!* のメインメニューから、ログオンを選ぶ。
- ⑤ あらかじめ設定しておいた SSL-VPN を選び、OK をクリックすると接続できる。



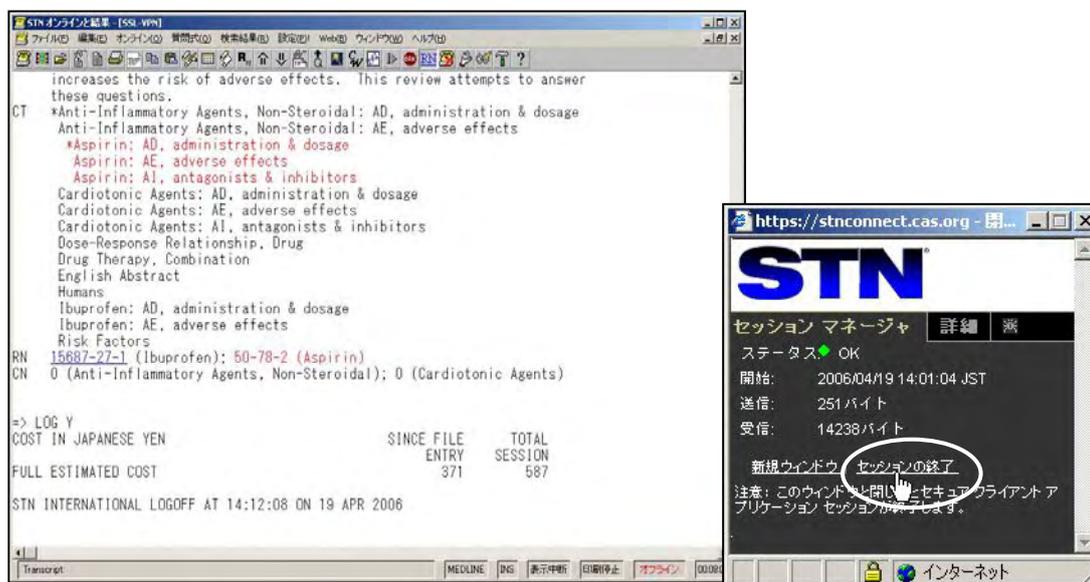
インターフェースの強化

STN Express with Discover!

- オンラインセッション画面



- ⑥ 検索を終了する場合には、LOG Y 後、セッションマネージャ画面の セッションの終了 をクリックする。



※ 化学構造図やグラフィックを Kermit 形式でダウンロード/アップロードすることができない場合は下記のサイトを参照。

<http://www.jaici.or.jp/news/news060406.htm>

注意) SSL-VPN 接続はポート 443 を使用する必要があるため、利用の際は設定前にシステム担当者に確認する。

インターフェースの強化

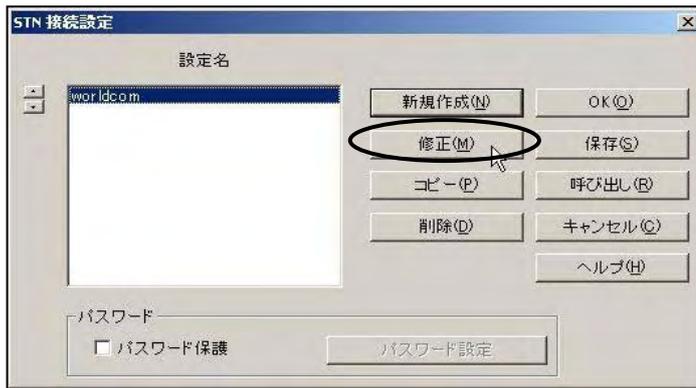
STN Express with *Discover!*

- telnet の暗号化の設定手順 (V8.0~)

① STN Express を起動させ、設定のボタンをクリックする。



② 新しく設定する場合には、**新規作成 (N)**、既存の設定を変更したい場合は、変更する設定名を選択し、**修正 (M)** のボタンをクリックする。(今回はWorldCom回線から暗号化telnet接続へ変更する例を紹介する。WorldCom回線の設定を選び、**修正 (M)** のボタンをクリックする。)



③ 接続経路 Winsock (Internet) を選択する。選択すると自動的に下記の通信設定に変更される。なお、必要に応じて設定名を変更する。

設定名: telnet-RSA ログイン ID: 123456 OK

ホスト名: STN-Tokyo パスワード: ***** キャンセル

接続法 1 | 接続法 2 | 接続法 3 | 接続法 4 | ホストの設定 ヘルプ

接続経路: Winsock (Internet) パスを削除

ログオン手順
● 標準 WINSOCK
○ カスタム

通信設定
ホスト名か IP アドレス: stnt.cas.org RSAによる暗号化
ポート: 23
エコー: YES

漢字: SJIS

ログオフ手順
● 標準

※ 自動設定内容
ログオン手順
- 標準 WINSOCK
通信設定
- ポート: 23, ホスト名: stnt.cas.org

V8.0

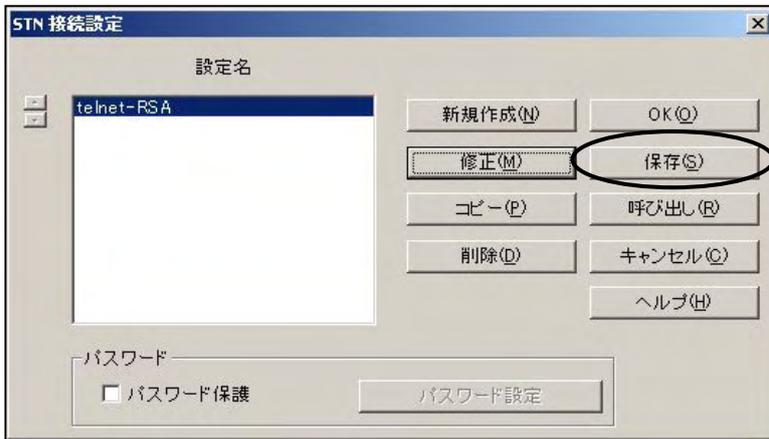
暗号化 telnet を設定する場合は、必ずここにチェックを入れる

注意) telnet 接続はポート 23 を使用する必要があるので、利用する際は設定前にシステム担当者に確認する。

インターフェースの強化

STN Express with *Discover!*

- ④ **保存(S)** をクリックし、設定を保存する。



・ オンラインセッション画面

